



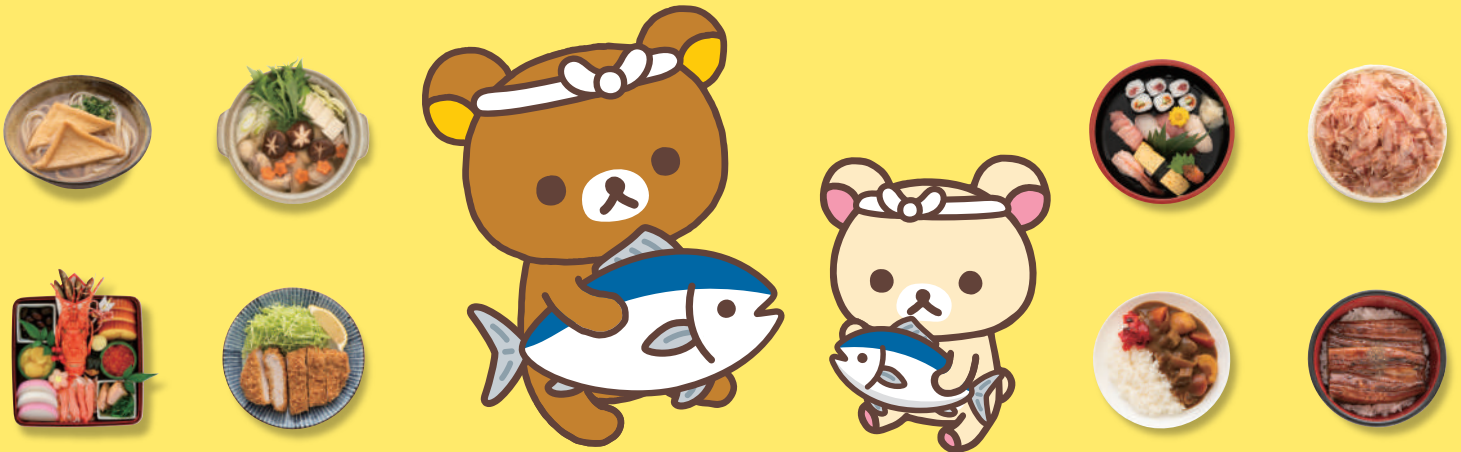
知ると、
もっとおいしい。

和 特別展 日本食

日本の自然、 人々の知恵

Special Exhibition WASHOKU

Nature and Culture in Japanese Cuisine
— More Delicious with More Knowledge —



©2025 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

2025 **7.19** 土 → **9.23** 祝火 **熊本市現代美術館**
Contemporary Art Museum, Kumamoto



熊本市中央区
上通町2-3
Tel 096-278-7500

開館時間	10:00-20:00 (入場は19:30まで)	主催：熊本市現代美術館〔熊本市、(公財) 熊本市美術文化振興財団〕、 熊本日日新聞社、KKT熊本県民テレビ、朝日新聞社 協賛：三和酒類
休館日	火曜 *9月23日(火・祝)は開館	助成：芸術文化振興基金 特別協力：国立科学博物館 協力：クックパッド

和食ってなに？



和食の知られざる多様性に迫る、大事典的展覧会。「和食」は、日本列島の多様な自然やそこに暮らす人々の知恵・歴史を背景に成立し、独自に発展してきました。さらに、外来の食文化を柔軟に受け入れながら、今なお変化し続けています。ユネスコ無形文化遺産に登録されてから12年、世界からますます注目を集めている「和食」。多様な食材と、人々の知恵や工夫、歴史の変遷、そして未来への挑戦まで、身近なようで意外と知らない和食の魅力を鮮やかに紹介します。



大消費地 江戸の誕生

寿司、天ぷら、そばの屋台が並ぶ江戸の町にタイムスリップ



北前船の模型



当時の大きさを再現した握り寿司(模型)が屋台に！

和食の成り立ち

縄文時代から現代まで、人々の知恵やおもてなしの心、海外との交流を通じて発展してきた和食の歴史を紐解きます。

マンガに見る昭和の食

漫画「サザエさん」を切り口に、昭和の台所や戦後の食卓を紹介



漫画「サザエさん」(1949(昭和24)年2月18日、朝日新聞掲載) ©長谷川町子美術館



波平さんの夕食
所蔵：奥村勉生監修
御食園若狭
おばま食文化館

知ってる？

実はほとんどの野菜が外国原産



多彩な地ダイコンレプリカ
国立科学博物館蔵

野菜

列島が育む食材

食の基本となる水、そしてキノコ、山菜、野菜、海藻、魚介類。世界でも有数の生物多様性を持つ日本列島がもたらす豊かな食材と、食への飽くなき挑戦によって生み出された発酵の技術や出汁について、科学的な視点で解説します。



クロマグロ
実物大模型
国立科学博物館蔵

知ってる？

日本で食べられている魚の種類は世界屈指！



ヒロメ
標本
国立科学博物館蔵



いいだし



★

海藻

これって和食？

みんなの意見をリアルタイムで集計



わたしの和食

時代とともに和食の定義も変化しています。ラーメン、カレー、オムライスなどは和食でしょうか？「これって和食？」のアンケート結果から、改めて和食とは何かを考えます。

チケット 中学生以下無料

一般	シニア (65歳以上)	学生
当日券		
1,600円	1,200円	900円
前売り/20名以上の団体/ 電車・バス1日乗車券等を提示の方		
1,200円	1,000円	700円

*各種障害者手帳をご提示の方とその付き添い1名は無料*前売券は7月18日(金)まで販売
チケットお取り扱い：熊本市現代美術館/熊日プレイガイド/セブチチケット/KKday

熊本×和食

変化の大きい現代を「食」から考える現代アート作品や、熊本・九州の食に焦点を当てたイベントなど、熊本会場オリジナルコンテンツにもご注目！



市原えつこ(未来SUSHI) 2022年(部分)
撮影：黒羽政士

会期中はイベントが盛りだくさん！

詳しくは美術館公式HPで

鑑賞サポートツール「あとみる」

自分のスマホを使って和食についての色々な「Q」に答えながら、展覧会を楽しめるウェブアプリです。
※画像はイメージです。



オープニングイベント

会場：ホームギャラリー(約90名)

オープニング講演会

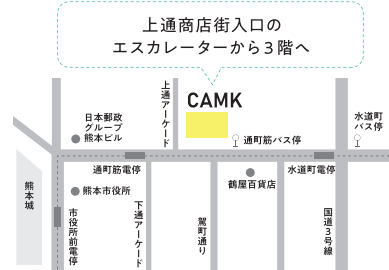
7月19日(土)13:30~15:00

講師：國府方吾郎
(国立科学博物館 植物研究部)

アーティスト・トーク

7月20日(日)13:30~15:00

講師：市原えつこ
(本展出品アーティスト)



熊本市現代美術館は「通町筋(とおりちょうすじ)」バス停・電停下車 目の前です。

■阿蘇くまもと空港からリムジンバス(約40分)
■JR熊本駅から市電・バス(約15分)

*美術館は交通アクセスのよい熊本市街地中心部にありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
*美術館専用の駐車場はございません。「びぶるす熊日会館」駐車場(有料)や周辺のコインパーキングをご利用ください。

後援：文化庁、農林水産省、和食文化学会、和食文化国民会議、熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本国際観光コンベンション協会、NHK熊本放送局、J:COM熊本、エフエム熊本、FM791